

平成18年2月20日
市 民 部

盛岡市火葬場整備の検討状況について

1 検討状況

市火葬場の整備については、市の基本的な考えとして、現在地で施設の更新を目指すこととする「火葬場整備方針（案）」を平成17年2月に公表し、パブリック・コメントを実施した。平成17年度は、パブリック・コメントで寄せられた意見等を踏まえ、整備方針案を基に「火葬場整備基本構想（案）」を作成し、年度内に公表する予定としていた。

現在までに、火葬施設や駐車場等の構想は概ねの方向性がまとまったが、新たに整備を計画している道路については、国道4号への接続を検討しており、整備の目的や効果、施工性等の面から複数の案を比較検討し、路線選定に向けた作業を進めているところである。路線の選定に当たっては、新設道路が既存の道路交通に及ぼす影響を把握するため、交通量調査を行う必要があるが、冬期間の調査は時期的に適さないことから、次年度に実施することとなった。

このため、道路計画を含む基本構想案の公表は次年度に行うこととするが、現段階で取りまとめた火葬施設や駐車場等の施設構想案の概略を示すとともに、整備手法と今後の予定について、次のとおり取り進めようとするものである。

2 施設構想案（概略）

(1) 施設の位置

- ・ 盛岡市三ツ割字寺山49番地（区域面積：約8,400㎡）

(2) 火葬施設

- ・ 構造等 3階建（延床面積：約3,500㎡）
- ・ 火葬炉 10基（火葬炉9基、胞衣炉1基）
- ・ 火葬能力 14～16件/日（最大稼働時 20件/日）
- ・ 諸室等 告別室（2室以上）、収骨室（3室以上）、待合個室（6室以上）、エレベータ、その他

(3) 駐車場

- ・ 構造等 自走式立体駐車場
- ・ 収容台数 約150台

(4) 道路

- ・ 国道4号への接続について検討を進めており、路線選定の資料とするため、平成18年度に「交通量調査」を実施する。

(5) 概算事業費

- ・ 約26億円（新市建設計画における計画額）

3 整備手法

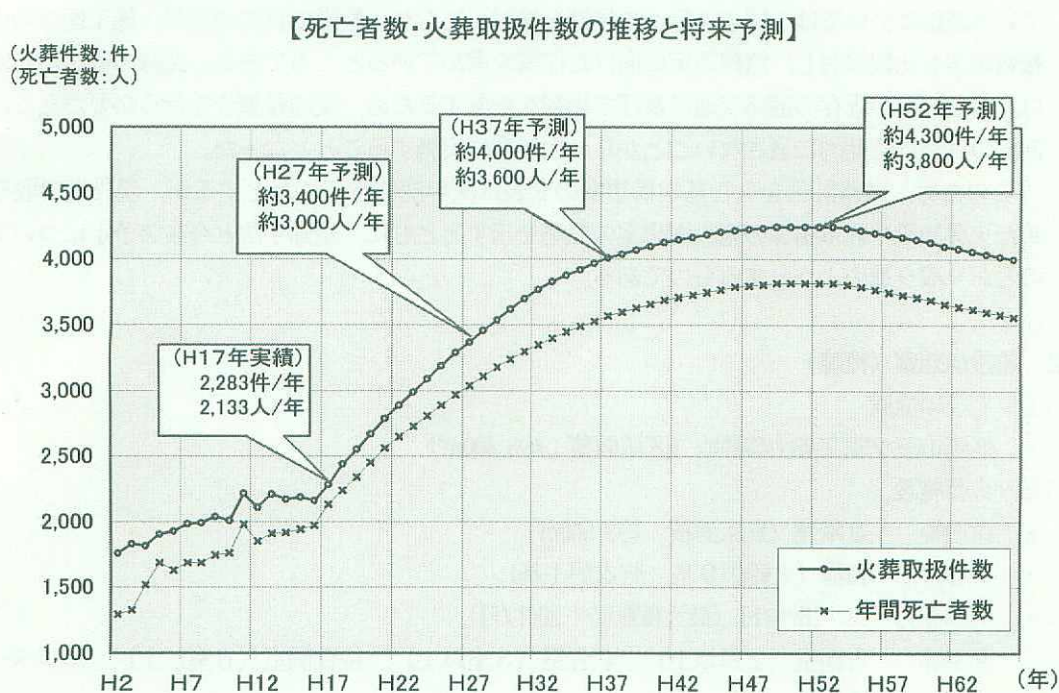
事業費の抑制による財政負担の軽減と効率的で効果的な整備を図るため、従来方式の公共事業による整備のほか、民間のノウハウ等を活用した新たな事業手法による整備についても検討を進めることとしている。本事業における新たな事業手法の導入の可能性について、詳細かつ専門的な検討を行うため、平成18年度に「火葬場整備に係る事業化調査」を実施する。

4 今後の予定

平成18年度は「交通量調査」を実施し、道路計画を含む「火葬場整備基本構想（案）」を早期に取りまとめ、パブリック・コメントを実施する。

また、「火葬場整備に係る事業化調査」を実施し、新たな事業手法による事業化の可能性について詳細な検討を行うとともに、調査の結果等を踏まえて、整備手法の選択など事業の具体化に向けて必要な手続きを進める。

【参考】 火葬取扱件数の将来予測



注1) 年間死亡者数は各年1～12月の計で、玉山区分は含まない。平成2年～17年は実績値、平成18年以降は推計値。

注2) 火葬取扱件数は各年1～12月の「死体」「死胎」の計で、玉山区分を含む市内利用件数と市外利用件数の合計。平成2年～17年は実績値、平成18年以降は推計値。

注3) 火葬取扱件数には「その他」は含まない。「その他」の取扱件数は例年200～300件。